

大学院特別講義

(医歯学先端研究特論)(生命理工学先端研究特論)
(生命理工医療科学先端研究特論)(医歯理工学先端研究特論)

下記により大学院特別講義を行いますので、多数ご来聴下さい。

記

1. 講 師 大阪歯科大学 客員教授 末瀬一彦 先生

2. 演 題 口腔内光学印象スキャナーの現状

3. 日 時 2019年6月6日(木)17:00~18:00

4. 場 所 7号館【歯学部校舎棟】1階 第1講義室

5. 要 旨

口腔内スキャナーは口腔内の静止画像あるいは動画像を採得後、速やかに口腔内情報を3次元モデルとして変換、画像構築が可能であり、これまでの印象材や石膏が不要となる。最近では口腔内挿入部のワンドが小型化され、口腔内への挿入も比較的容易になり、画像変換速度も増してきた。口腔内スキャナーはデジタル情報として長期的に保存、伝達が可能で、患者および術者の印象採得に対するストレスも軽減されるが、口腔内スキャナーを扱う上ではある程度のトレーニングが必要であり、広範囲にわたる光学印象では計測誤差が生じる報告もある。2019年度のIDSでは、新機種の開発も行われていたが、多くの口腔内スキャナーでは、計測速度、画像処理のスピードの向上、補綴装置設計における顎運動や顔面計測データなどと融合するソフトの開発、う蝕検出機能などが付加されていた。口腔内スキャナーは補綴装置製作のツールだけでなく、口腔内情報の保存や検査にも活用されることが期待され、令和の幕開けとともに急速に普及することが期待される。

三浦 宏之(岡田 大蔵)(摂食機能保存学分野 内線5521)